

平成29年8月3日



大豆情報 号外

J A む な か た
北筑前普及指導センター

J A む な か た 大豆部会員は、「適期内に播種を終える」という目標達成に向け、早いところでは7月1日から、本格的には7月12日前後から播種が始まり、7月20日の梅雨明けには約90%のほ場で播種を終えています。大変ご苦労様でした。

7月中旬に播種されたほ場では、現在本葉第2葉が展開しています。また、初期除草剤を省略したほ場や効果不十分なほ場では、メヒシバ、ノビエなどのイネ科雑草やアサガオ類、ホソアオゲイトウなどの広葉雑草が生育し目立ってきています。このまま雑草の生育が進むと、大豆の生育・収量に大きな影響を及ぼします。連日真夏日・猛暑日が続く中ではありますが、雑草対策として、「中耕・培土」と除草剤を組み合わせ、雑草対策行ってください。



マメアサガオ 本葉が展開
(各地)

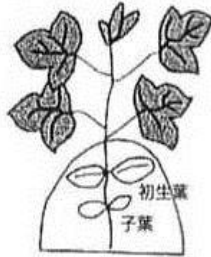
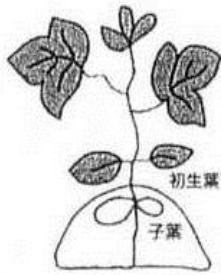


ノビエが一斉に出芽
(各地)

大豆栽培は、「適期播種」と「雑草防除」の二つができれば、200kg/10a以上の収量は十分可能です。

「中耕・培土」は、雑草防除だけでなく、土壌を柔らかくして通気性を改善する効果、不定根の発生促進（根の量が多くなる）の効果、倒伏防止効果が期待できます。

7月中旬播種のほ場では、今が第1回目の中耕・培土時期です。



1回目	本葉2～3葉期に子葉節まで培土（播種後約2週間目頃）
2回目	本葉5葉期に初生葉節まで培土（播種後約3週間目頃）

畝の両側から子葉節の高さまで、「山型」に培土している
(宗像市曲)



中耕・培土で十分除草ができない場合は、生育期除草剤を中耕・培土前に散布してください。

除草剤名	対象雑草	処理時期	使用量	希釈水量/10a
ポルトフロアブル	一年生イネ科雑草 スズメノカタビラを除く	イネ科雑草3～10葉期（収穫30日前まで）	200～300ml	100ℓ
大豆バサグラン液剤	一年生雑草 イネ科を除く	大豆の2葉期～開花前（雑草の生育初期～6葉期） 収穫45日前まで	100～150ml	100ℓ

※ 周辺に水稲ほ場がある場合は、水稲にかからないように注意してください。
 ※ 大豆バサグランは、高温で活性が進むため、薬害軽減の観点から、夕方の散布が望ましい。